

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

生活目標

『進んで本を読もう』

平成24年9月28日

第7号

川越市立高階南小学校

温かな心に溢れる高階南小学校！

残暑の残る中、2学期を順調にスタートすることができました。校舎には、音楽会に向けた歌声が響いています。「歌声の響く学舎（まなびや）」そのものです。先日の音楽朝会では手話をつけながらの爽やかな歌声が体育館に響き渡りました。

広げよう ボクらの夢を 届けよう ボクらの声を

咲かせよう ボクらの花を 世界に虹をかけよう

世界中の子供たちが 一度に歌ったら

空も歌うだろう ラララ 海も歌うだろう

9月の歌「世界中の子どもたちが」（詞 新沢としひこ）より



<手話を使った音楽朝会>

【心の居場所】

2学期、子どもたちは様々な行事を経験します。縦割り活動のハッピーフェスティバルでは、異学年の中でどうやったら楽しく遊ぶことができるのかという難しい問題に直面します。校外活動や遠足では、普段の生活の場とは違う所で、緊張感の中、いかに班員と協力し、目的を達成するかということ学びます。

「物理的にも精神的にも、日常を離れた中で、いかに自分の居場所づくりをするか」という問題を考えたとき、解決の糸口となるのは「仲間」というキーワードでしょう。 <5年生校外学習 川口スキップシティ>



【仲間】

クラスや学年、登校班や友達の輪の中で、安心して生活できることが、今、一番求められています。そこには、いじめなどということが絶対にはありません。集団で生活する中でうまくいかないこと、思い通りにいかないことをどうにか切り抜けていく力。多くの学校行事や学習、日常の生活を通して、目的に向かって前進し、「仲間」ととともによりよい人間関係を作り上げていく力。そんな力を子どもたちにつけていきたいと思ひます。

【それぞれの持つよさを発揮する！】

近年、「周囲に気を遣いすぎる若者が増えている。お互いの顔をうかがいながら、深いつきあいを避けている。」という言葉をしばしば耳にします。しかし、本校の子どもたちを見ていると元気に遊びながら、本音でぶつかり合っているなという場面に、出くわすことがよくあります。仲間が欲しいから言いたいことも言わず、我慢してついて行く。それでは、本当の仲間作りはできません。

<6年生浦和レッズ ハートフルクリニック>

「あなたはかけがえのない大切な存在なんだ。」このことを一人一人の子どもたちにしっかりと伝えることで、それぞれの持つよい面を發揮できるようになるのではないのでしょうか。その積み重ねが大切な仲間作りにつながり、安心して生活できる場を作り出していくのではないかと思います。教師としても、子どもたちに自信を与え、積極的に自分のよさを發揮できるような指導を展開していきたいと考えております。今後ともご協力の程、どうかよろしくお願ひいたします。*HP(ホームページ)に「高階南小フォトアルバム」のページを新設しました。

